


このごろは働き方にも変化がみられ、おうちの人<sup>ひと</sup>が在宅ワーク<sup>ざいたく</sup>をしているという人も多い<sup>おほ</sup>かもしれません。  
昔<sup>むかし</sup>からある仕事<sup>しごと</sup>や憧れ<sup>あこが</sup>の仕事<sup>しごと</sup>・・・図書室<sup>としよしつ</sup>には働く人<sup>はたら</sup>やしごとについての本もたくさんありますよ。

# しごとの本



**E** 『おれ、よびだしになる』  
**ナ** 中川ひろたか/文 石川えりこ/絵 アリス館



ぼくは小さいころからすもうがだいすき。すきなおすもうさんはもちろんいるけど、一番すきなのは「よびだしさん」。せんすをさっと広げておすもうさんのなまえをよくとおる声で呼び上げる。めちやめちやカッコいい。

**E** 『メアリー・スミス』  
**ユ** アンドレア・ユーレン/作 千葉茂樹/訳 光村教育図書




げつようび あさ 月曜日の朝、よあけを待たずに家をでて、町へといそぐメアリー・スミス。ゴムのチューブに豆をこめ、プッ！と、ひとふき。町のみんが感謝する。むかしむかしのイギリスで、本当<sup>ほんとう</sup>にあったその仕事<sup>しごと</sup>とは？

**36** 『しごとば やっぱり』  
鈴木のりたけ/作 ブロンズ新社



プロサッカー選手<sup>せんしゅ</sup>、恐竜学者<sup>きょうりゅうがくしや</sup>、探検家<sup>たんけんか</sup>、オーケストラ団員<sup>だんいん</sup>…。全部<sup>ぜんぶ</sup>で9つの職業<sup>しよくぎよう</sup>の仕事場<sup>しごとば</sup>と仕事道具<sup>しごと</sup>、仕事の流れ<sup>なが</sup>をカラーイラストでくわしく紹介<sup>しょうかい</sup>。人気の「しごとばシリーズ」6作目<sup>まくめ</sup>。

**916** 『青い鳥文庫ができるまで』  
岩貞るみこ/作 講談社



てがる よ 手軽で読みやすく面白いととしよしつ 図書室<sup>としよしつ</sup>でも人気の高い青い鳥ぶんこほん 文庫の本<sup>ぶんこほん</sup>。そんな人気本<sup>にんきほん</sup>ができるまでを、お仕事という目線<sup>めせん</sup>でお追いかけた一冊<sup>いっさつ</sup>です。本<sup>ほん</sup>が好き<sup>す</sup>な人<sup>ひと</sup>、将来出版社<sup>しょうらいしゅつぽんしゃ</sup>で働きた<sup>はたら</sup>い人は必読<sup>ひつどく</sup>！



フックン図書館まめちしき ☆本はただしいぼしょにもどしましょう☆

